

第2学年体育科学習指導案

日 時：平成23年〇月〇日（〇）

対 象：第 2 学 年 〇 組

授業者：大田区立〇〇小学校

研究テーマ 「楽しく学び体力が向上する授業づくり」

◎研修のねらいに迫るために

子供の体力の低下傾向は深刻な課題であり、運動に対しての二極化は2年生の児童にも見られる。小学校低学年の時期に多様な動きを数多く経験させ、基礎的な運動感覚を身に付けさせたい。様々な運動感覚を低学年において身に付けておくことが、中学年以降の学習において大きな役割を果たすことになる。様々な運動遊びによって身に付いた力や動きが中学年での意欲的な学習につながり、高学年ではより発展した技に取り組めるようになるとともに、自分や仲間の動きを客観的に捉えることができ、さらに意欲を高めていくものになると考える。

そのため、跳び箱運動の前に学習する「跳び箱を使った運動遊び」の授業においても、様々な運動感覚を身に付けさせたい。具体的には次のような運動感覚である。

・踏み切り感覚 ・腕支持感覚 ・体の投げ出し感覚 ・高いところからの着地の感覚

本実践では児童が夢中になって楽しく運動に取り組み、跳び箱運動に必要な感覚を身に付けることをねらいとし、その中で「できた」という喜びや満足感を十分に味わわせたい。跳び箱を楽しく跳び越えながら、助走、踏み切り、踏み越しまたは着手、着地という跳び箱運動の一連の動きのタイミングやリズム等を習得させる。また指導者として、教材とする運動遊びが児童にどのような感覚や力を身に付けさせるものかを見通して学ばせていくことを大切にする。

児童にとって運動ができるようになることは大きな喜びである。この2年生の時期に一人一人に「できた」という実感をもたせ、跳び箱遊びはもとより、運動することが大好きになってほしいと願っている。

以上のことを踏まえ本単元では、「感覚づくり運動の導入」、「豊富な運動場面の設定」「遊びの条件（①挑戦性があること、②自然と複雑な遊びに発展すること、③めあてが明確になっていること）を備えている運動の開発」、という授業展開の工夫により、ねらいに迫りたいと考える。

1 単元名

器械・器具を使つての運動遊び 跳び箱を使った運動遊び 「2の〇とびばこランド」

2 単元の目標

技能：跳び箱を使って跳び乗りや跳び下りなどの基本的な跳び箱遊びができるようにする。

態度：運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

思考・判断：器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。

3 単元の評価規準

観点	ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能
単元の評価規準	跳び箱を使つての運動遊びに進んで取り組むとともに、順番やきまりを守り仲よく運動をしようとしたり、運動をする場の安全に気を付けようとしたりしている。	器械・器具を用いた運動遊びの行い方を工夫している。	跳び箱を使った運動遊びを楽しく行うための基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きを身に付けている。
学習活動に即した具体的な評価規準	① 跳び箱を使つての運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ② 運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動している。 ③ 友達と協力して、跳び箱などの準備や片付けをしようとしている。 ④ 運動をする場や、器械・器具の使い方などの安全に気を付けようとしている。	① 跳び箱を使つての運動遊びの行い方を知るとともに、運動をする場や使用する器械・器具の条件を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。 ② 跳び箱を使つての運動遊びの動き方を知り、友達のよい動きを見付けている。	① 片足で踏み切つて跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプして跳び下りたりすることができる。 ② 数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手をついて跳び乗ったり、跳び下りたりできる。 ③ 数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、腕を支点に体重を移動させてまたぎ下りたり、横跳び越しをしたりする。

4 指導観

(1) 児童観

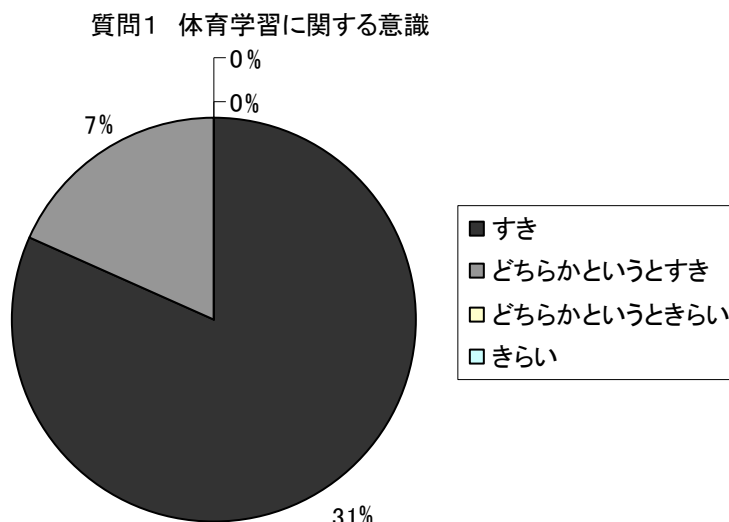
① 日頃の様子や体育学習の様子から

明るく元気いっぱい体を動かすことが大好きな児童が多い。休み時間はクラスの大半が校庭へ出て遊んでいる。しかしこれまでの学習や休み時間、放課後の過ごし方を見ると、児童によって運動経験の差は大きい。

一学期は、主に走・跳の運動遊びと、鉄棒を使った運動遊び、水遊びに取り組んだ。どの学習にも意欲的に取り組み、休み時間の遊びにも学習したことを取り入れていた。学習の振り返りをするのが苦手な児童が少なくないため、体育の学習ノートを継続して書かせている。

② 意識調査の結果から (9月実施 2年〇組〇〇名)

しつもん1 体育の学しゅう (かけっこ、リレー、おにあそび、てつぼう、のぼりぼう、ジャングルジム、うんてい、いろいろなうごきをするうんどう、水えい、マットをつかったうんどう など) について、あなたはどのように思っていますか。 **自分の気持ちに近いものに丸をつけましょう。**



質問1

体育の学習に対しては、全員が「好き」・「どちらかというとき」に回答している。

学習中は、意欲的に取り組んでいる児童が多いので、実態と回答とのずれも感じない。

質問2 (次ページ)

低学年であっても、運動そのものや、それぞれの領域の楽しさを感じて回答した児童が多い。

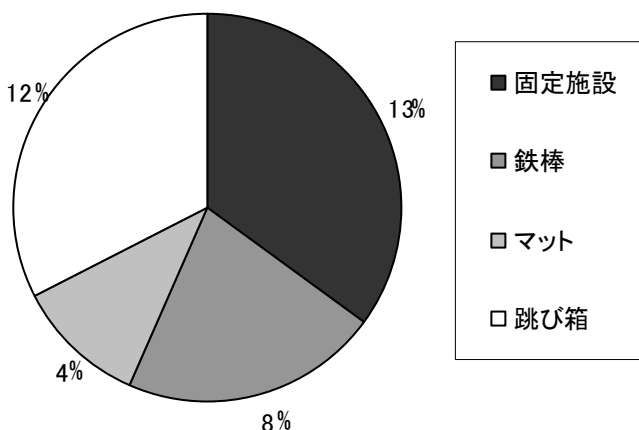
今まで取り組んだ学習に偏りがあるのかもしれないが、特に走ることが好きな児童が多い。

しつもん2 1のしつもんでこたえた、りゆうを書きましょう。考えたことはみんな書きましょう。

・走ることが好き(7)	・運動が好き(5)	・鬼ごっこが好き(4)	・水泳が好き(3)
・リレーが好き(3)	・元気になる(2)	・やるとその(領域の)力が身に付く(2)	
・得意なものは好きだが、苦手もある(から「どちらかというとき」を選んだ)(2)			
・ならないごとで運動をしている(2)	その他⇒	・勝敗があるところ	・速さを競うところ

しつもん3 つぎのうんどうの中で、一ばんすきなうんどうは何ですか。ばんごうに丸をつけましょう。

質問3 器械運動の中で好きなもの



質問3

一学期の校庭で行う体育は、1単位時間を半分に分けて、固定施設を使った運動遊びに取り組みさせることが多かった。その後に走・跳の運動遊びを行った。鉄棒にも取り組みさせたが、固定施設の方が楽しかったようである。

質問4 ①・②

それぞれの運動が好きな理由は、「高さを感じる」「逆さ感覚」「跳ぶ感覚」などを挙げている児童が多く、運動の特性に基づいた楽しさを味わっている。

また、好きではない理由は、やはりどの種目も「恐怖感」が最も多い。指導の工夫により、ある程度克服できると考える。

しつもん4 3のしつもんでこたえた、りゆうを書きましょう。考えたことはみんな書きましょう。

①一ばんすきなうんどうが、すきなりゆうを書きましょう。

固定施設	・上に登るのが好き(6)	・練習してできるようになった(2)	・体が丈夫になる(2)
鉄棒	・逆さになるのが好き(3)	・練習してできるようになった(3)	
マット	・マットは安全だから(2)	・上手にできるから	
跳び箱	・跳ぶのが好き(5)	・ジャンプ力がつく(3)	・挑戦するのが面白い(2)

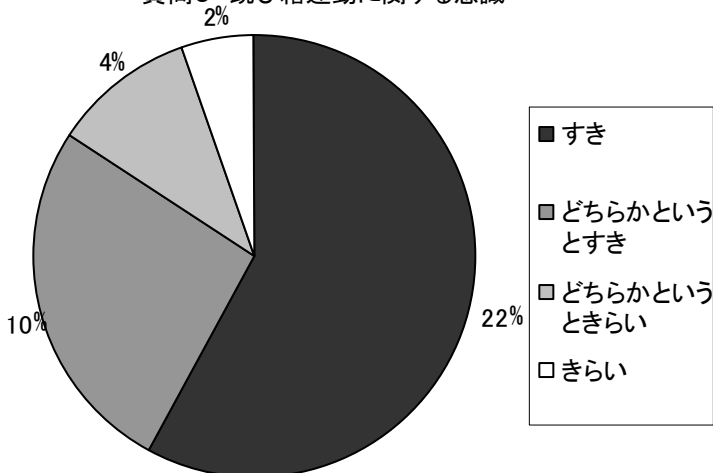
②ほかのうんどうに、丸をつけなかつたりゆうを書きましょう。

固定施設	・落ちたらこわい(4)	・手が痛い	・あまりできない
鉄棒	・落ちたらこわい(7)	・技が難しい(2)	・頭に血がのぼる
マット	・技が難しい(3)	・頭が痛くなる(2)	
跳び箱	・ケガしそうでこわい(4)	・手や足が痛い	

しつもん5 とびばこをつかったうんどうについて、あなたはどのように思っていますか。

自分の気持ちに近いものに丸をつけましょう。

質問5 跳び箱運動に関する意識



質問5

多くの児童が好意的な回答をしているが、6名はそうではない。指導の工夫により、ここを減らすことが大きな課題である。

質問6・7

跳ぶこと自体や、挑戦課題をもつこと、できなかったことができるようになることが、跳び箱を好きな理由の大半を占める。児童の学習準の備状況として、領域の特性に基づいた楽しさを知っていることは、学習を進めていく上でプラスになることである。嫌いな児童の恐怖心が少しでも払拭できるように場づくり等を工夫していく必要がある。

しつもん6 5のしつもんでこたえた、りゆうを書きましょう。考えたことはみんな書きましょう。

・うまく跳べると気持ちがいい(5) ・高い段が跳べるから(5) ・跳び越えるのが好き(4)
・練習してできるとうれしい(4) ・ジャンプカがつき、習い事に役立つ(2)
・鉄棒のようないやなところがない ・他であまりしない運動だから ・挑戦したい
・跳び箱には、コツがあるから

※「きれい」な理由

- ・1年生のときに頭や顔をぶつけた(2) ・こわい(3) ・足の骨を折りそう

しつもん7 とびばこをつかったうんどうの中で「おもしろい」「たのしい」「うれしい」とかんじるときは、どのようなときですか？ 考えたことはみんな書きましょう。

・跳ぶことができたとき(14) ・できないことができたとき(7) ・高いのが跳べたとき(7)
・ほめられたとき(2) ・難しい技ができたとき(2) ・失敗しても次にできたとき
・みんなの前で成功したとき ・跳んだときのポーズ ・初めて跳んだとき
・「おもしろい」はすごい人がいっぱい集まっているとき、「たのしい」はいっぱい跳んでいるとき

しつもん8 とびばこをつかったうんどうの学しゅうで、あなたが「やってみたいな」と思うのは、どのようなことですか。考えたことはみんな書きましょう。

・高い段を跳ぶ(18) ・走って飛び乗って前転(3) ・跳ぶ段を選んで跳ぶ(2)
・横に足を伸ばしてやる ・きれいに跳びたい ・コースを作ってやりたい ・つながって跳びたい
・連続跳びをしたい ・後方回転をしたい ・ジャンプ力を上げたい
・トランポリンと組み合わせたい ・新しいことを知りたい

質問8

やってみたいことの大半が「高い段を跳ぶ」ということである。1年生のときに、「支持でのまたぎ越し」に多く取り組んでいることが理由と考えられる。少数ではあるが、集団で取り組むことや、コースを作って跳ぶことなどを望んでいる児童もいる。運動遊びとして、このような方向で授業をつくることが大切であると考えられる。

(2) 教材観

① 運動の特性

ア 一般的な特性

- ・片足や両足で踏み切ったり腕で支持をしたりする等、自分の身体を操作することが楽しい運動である。
- ・技へ挑戦する面白さを感じることができる運動である。
- ・考えた動きが演技の中で表現することができる運動である。

イ 児童から見た特性

- ・自分の体を思い通りに動かすことができたとき、楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- ・ポイントが分かり、コツをつかみ、工夫できたときに喜びを感じる運動である。
- ・できるようになったり友達と教え合ったりしたときに楽しさや喜びを感じる運動である。
- ・日常生活の運動とは異なった非日常的な運動である。

② 教材について

器械・器具を使つての運動遊び及び器械運動は、適した時期を逃してしまうと、以降、恐怖心もあつてなかなか意欲的に取り組めず、器械運動に必要な感覚が身に付かないという「適時性」が顕著な運動(遊び)である。

本学級の児童は、幼児期に様々な運動の経験がある児童にとっては安心して自分の体を動かすことができるが、経験がない、または少ない児童はどことなく動きがぎこちなく、技能を身に付けるのに時間がかかるというように、運動経験の差がある。

意図的・継続的な授業づくりを大切に、児童に身に付けさせたい力や感覚を踏まえた運動遊びを行う。

5 単元の指導計画と評価計画（全10時間）

	学習活動・学習内容	学習活動に即した具体的な評価規準[評価方法]
第1時	<p>授業中の進め方やきまりを理解する。感覚づくり運動の方法を理解する。</p> <p>○学習のねらいや進め方を知る ○準備運動をする ○感覚づくりの運動をする（じゃんけんすごろく） ○めあての確認をし、用具の安全な準備の仕方を知り、準備する ○踏み越し跳びに取り組む ○整理運動をする ○用具を片付ける ○学習カードに記入する ○気付いたことや感じたことを発表する</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>ウー①[観察]</p>
第2時	<p>踏み越し跳びの仕方を工夫する。跳び方の工夫のポイントを知る。</p> <p>○めあての確認、準備運動をする ○感覚づくりの運動をする ○用具を安全に準備する ○踏み越し跳びに取り組む（場の条件をいろいろと変える） ○工夫のポイントを理解し、踏み越し跳びを工夫して取り組む ○整理運動をする ○用具を片付ける ○学習カードに記入する ○気付いたことや感じたことを発表する</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>イー①[観察・カード]</p> <p>ウー②[観察]</p>
第3時 ～ 第5時	<p>支持で跳び乗り・跳び下り、支持でまたぎ乗り・またぎ下りに取り組む。両足踏み切り、着手、着地の仕方を理解する。</p> <p>○めあての確認、準備運動をする ○感覚づくりの運動をする ○用具を安全に準備する ○支持で跳び乗り・跳び下り、またぎ乗り・またぎ下りのやり方を知り、取り組む ○両足で踏み切ること、手で体を支えることの大切さを理解する ○整理運動をする ○用具を片付ける ○学習カードに記入する ○気付いたことや感じたことを発表する</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>イー②[発言・カード]</p> <p>ウー②・③[観察]</p>
第6時	<p>腕立て横跳び越し遊びをする。両足踏み切りから両手を着き、両手に体重をしっかりと乗せて跳び越える感覚をつかむ。</p> <p>○めあての確認、準備運動をする ○感覚づくりの運動をする ○用具を安全に準備する ○腕立て横跳び越しのやり方を知り、取り組む。 ○両腕にしっかりと体重をかけて跳び箱を跳び越す。 ○整理運動をする ○気付いたことや感じたことを発表する ○学習カードに記入する ○用具を片付ける</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>ウー③[観察]</p>

第7時・8時 (本時)	<p>今までの学習を踏まえ、自己のめあてに合った運動の場や遊び方を選んで取り組む。</p> <p>○めあての確認、準備運動をする ○感覚づくりの運動をする</p> <p>○用具を安全に準備する</p> <p>○基本的な動きを練習する</p> <p>○場を作り変え、グループで話し合っ場を選び、遊び方を工夫して取り組む</p> <p>○整理運動をする ○用具を片付ける</p> <p>○学習カードに記入する ○気付いたことや感じたことを発表する</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>イー①[発言・カード]</p> <p>ウー全[観察]</p>
第9時	<p>発表会に向けて上手になりたいことを練習して、技能を高める。</p> <p>○めあての確認、準備運動をする ○感覚づくりの運動をする</p> <p>○用具を安全に準備する</p> <p>○学習した跳び方に取り組む</p> <p>○発表会の話し合いをする ○発表会に向けた練習をする</p> <p>○整理運動をする ○気付いたことや感じたことを発表する</p> <p>○学習カードに記入する ○用具を片付ける</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>イー①・②[発言・カード]</p> <p>ウー全[観察]</p>
第10時	<p>できるようになった技や工夫したことを発表する。 友達の演技を見てよいところを認め合う。</p> <p>○めあての確認、準備運動をする ○感覚づくりの運動をする</p> <p>○用具を安全に準備する</p> <p>○自分が発表する跳び方を練習する ○発表会をする</p> <p>○整理運動をする ○気付いたことや感じたことを発表する</p> <p>○学習カードに記入する ○用具を片付ける</p>	<p>アー全[観察・カード]</p> <p>イー①・②[発言・カード]</p> <p>ウー全[観察]</p>

6 指導にあたって

(1) 学習過程について

器械運動につながる感覚を身に付けさせるため、感覚づくりの運動を毎時間行うようにする。また、児童が夢中になって取り組める学習内容や場を提示し、教師の言葉からコツを発見したり共有化したりしていく。一連の動きの中で豊かに身体表現をすることの喜びをどの児童にも味わわせていく。

(2) グループ編成について

1つの学習グループを4人(2グループ)と5人(6グループ)の計8グループで構成する。構成は、「運動の得意な児童・そうではない児童」のグループと「よく遊ぶ児童・そうではない児童」のグループなどとし、様々な児童が同じグループで学び合えるようにする。

(3) 学習資料について

共通課題として取り組む跳び方について絵入りのカードを用意し、ポイントの理解を図りコツを見付けやすくするようにする。児童が自ら見付けた動き方のコツについては、よい動きの例として、集めて共有できるようにする。

8 本時（全10時間中の第8時間目）

(1) 本時のねらい

技能	片足や両足で踏み切り、跳び箱を跳び越したり、支持での跳び乗りや跳び下りをしたり、支持でのまたぎ乗りやまたぎ下りをしたりすることができる。
態度	安全に気を付け、順番やきまりを守って、友達と協力して仲よく学習を進めている。
思考・判断	運動をする場や使用する器械・器具の条件を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。

(2) 本時の展開

学習過程	学習内容・活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準 [評価方法]
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整列をし、挨拶をする。 ○ 今日の学習の流れを確認する ○ 準備運動をする <ul style="list-style-type: none"> ・ペアラジオ体操 ・馬跳び ○ 感覚づくりの運動をする 「じゃんけんすごろく」 <ul style="list-style-type: none"> ・くも歩き ・あざらし歩き ・大また走り ○ 用具の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れをつかませる。 ○ 本時の活動につながる感覚づくりの運動を取り入れる。 ○ 安全に跳び箱とマットを運んでいるか確認する。 	<p>関：友達と協力して、跳び箱などの準備をしようとしている。[観察]</p>
展開 25分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な跳び方に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 踏み越し跳びに取り組む。 ・ 支持で跳び乗り、跳び下りに取り組む。 ・ 支持でまたぎ乗り・またぎ下りに取り組む。 ○ 友達の動きを見て気付いたことを基に、動きのポイントを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一度集合し、気付いたことを発表する。 ○ グループで話し合っ場を選び、遊び方を工夫して取り組む。 ※ 場作りについては、次頁を参照 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場の設定が確実にできているかを確認する。 ○ 踏み切りや着手のタイミング、空中姿勢、着地の仕方を見取る。 ○ 発表に基づいて、今までにない内容の場合は、吹き出しに書き出す。 ○ 友達と協力して、いろいろな場に取り組めるように助言する。 	<p>関：運動する場や、器械・器具の使い方などの安全に気を付けながら、跳び箱を使った運動遊びに取り組もうとしている。[観察・カード]</p> <p>関：運動の順番やきまりを守り、友達と仲良く運動している。[観察]</p> <p>技：跳び箱を使った運動遊びを楽しく行うための基本的な跳び方ができる。[観察]</p> <p>思：運動する場や器械・器具の条件を変えながら、いろいろな運動の仕方を見付けている。[観察・カード]</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 整理運動をする。 ※その場で行う ○ 用具を片付ける。 ○ 学習カードに記入する。 ○ 全体で集合し、気付いたこと等を発表する。 ○ 整列をし、挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部位の運動をする ○ 安全に用具を運んでいるか確認する。 ○ めあてを達成できた運動遊びを紹介し、価値付けと賞賛をする。 	<p>関：友達と協力して、跳び箱などの片付けをしようとしている。[観察]</p>

資料① 運動遊びの場作りについて

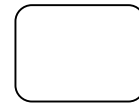
【基本的な跳び方に取り組む場】



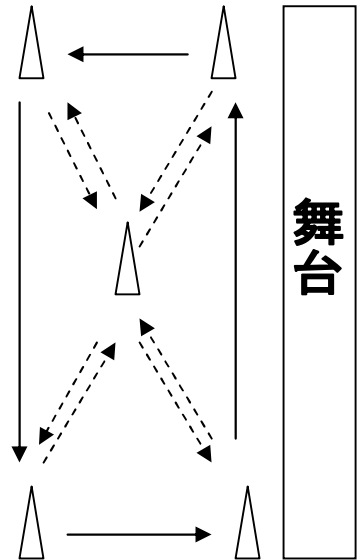
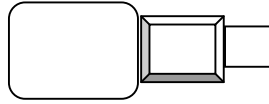
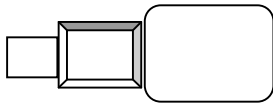
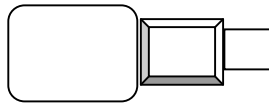
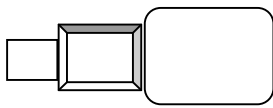
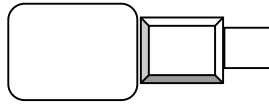
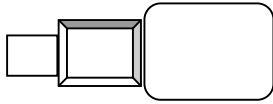
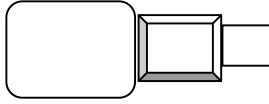
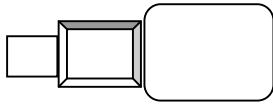
: 踏切板



: 跳び箱



: マット



じゃんけんすごろくの場

実線：勝った児童の動き

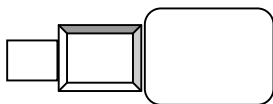
破線：負けた児童の動き

【場を選んで遊び方を工夫して楽しむ場】

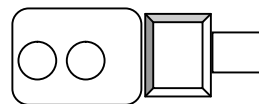
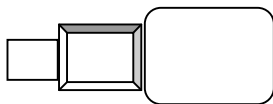
工夫のポイント：ケンステップや、ゴムなどを使って、ねらいを定めたり高く跳んだりする。

空中での姿勢を様々に変える。 その他、場の条件を変える。

大きく跳ぶ
コーナー

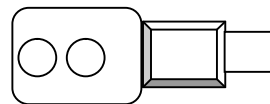


踏み越し跳
びや、支持
での跳び乗
り・跳び下
りを基に工
夫する。

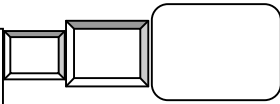


ねらって跳
ぶコーナー

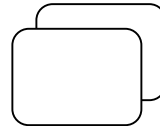
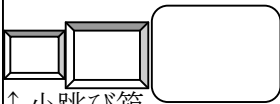
踏み越し跳
びや、支持
での跳び乗
り・跳び下
りを基に工
夫する。



ぴよんぴよ
んコーナー

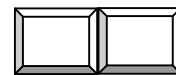


小さい跳び
箱を用いて
連続で支持
での跳び乗
りや支持で
のまたぎ乗
りを行う。



連結跳び箱
コーナー

支持でのま
たぎ乗
り
で、双方向
から進み、
じゃんけん



(とびばこをつかったうんどうあそび 2の〇とびばこランド)

〇月 〇日 2年〇組 名前

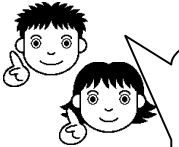
めあて

手をついて、とびばこにのったりおりたりできるようにしよう

楽しく うんどうができた。	◎	○	△
友だちとなかよく うんどうができた。	◎	○	△
あんぜんに気をつけてうんどうができた。	◎	○	△

☆今日のかんそう

〔 楽しかったこと・がんばったこと・気づいたこと
できるようになったこと・くふうしたこと・友だちのよいところ 〕



(とびばこをつかったうんどうあそび 2の〇とびばこランド)

〇月 〇日 2年〇組 名前

めあて

手をついてとびばこにのる・おりるうんどうをくふうしよう

楽しく うんどうができた。	◎	○	△
友だちとなかよく うんどうができた。	◎	○	△
あんぜんに気をつけてうんどうができた。	◎	○	△

☆今日のかんそう

〔 楽しかったこと・がんばったこと・気づいたこと
できるようになったこと・くふうしたこと・友だちのよいところ 〕

